

# まいづる

次号の折り込みは7月16日(土)

〈舞鶴市ホームページ〉 <http://www.city.maizuru.kyoto.jp/>

※バーコードリーダー機能がある携帯電話は下のQRコードから。



## まいづる花図鑑

### ヤブカンゾウ



ユリ科 見ごろ…7～8月

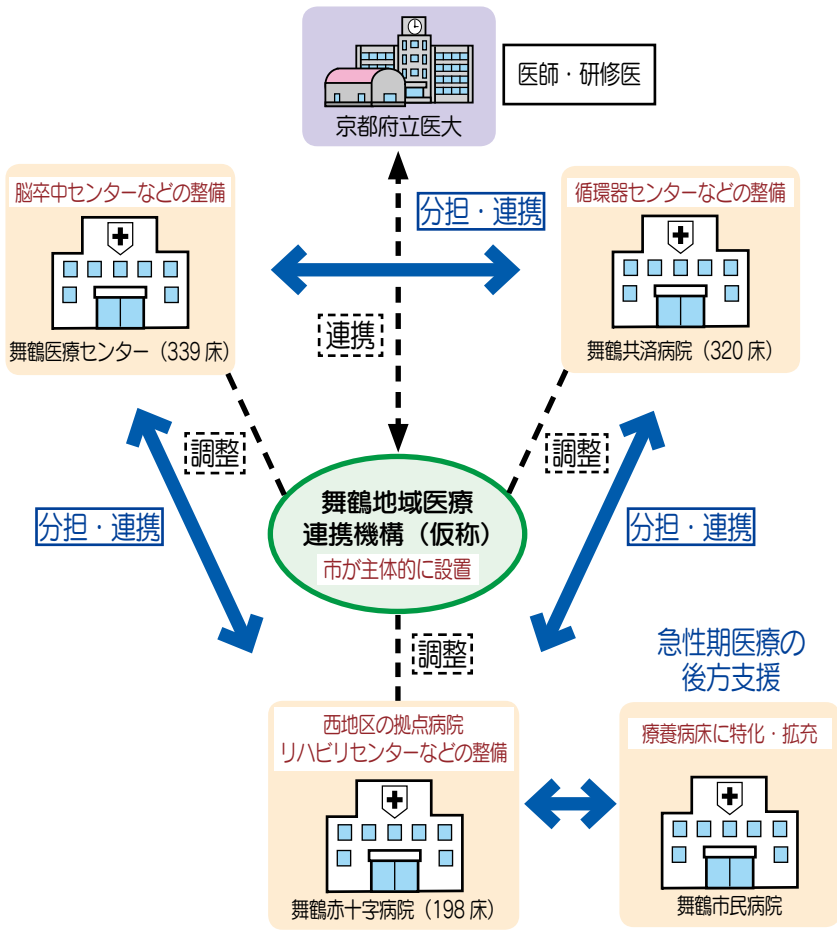
人里近くの道端や草地に多い多年草。根元から伸びる線形の葉は40～80センチで途中から垂れる。夏に花茎を伸ばしユリに似た赤橙色の花を数個付け、雄しべや雌しべが花びらになり八重咲きとなる。名前の由来は漢名の「萱草」の日本語読みで、よくやぶに生えることから。ヒガンバナと同様に古くに中国から渡来したと思われる。若芽は、ゆでて酢味噌あえにするとおいしい。

協力＝瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)

今号の主な内容

市議会6月定例会(2ページ)、市職員を募集(3ページ)、特集「舞鶴市・ナホトカ市姉妹都市提携50周年」(4・5ページ)、バスで巡ろう、夏の舞鶴(8ページ)

## 見直し案のイメージ図



## 中丹地域医療再生計画の修正へ

### 関係者会議

## 市の見直し案を提示

### 「選択と集中」「分担と連携」

6月17日に京都市で開催された会議には、独立行政法人国立病院機構近畿プロック事務所、日本赤十字社京都府支部、国家公務員共済組合連合会、府、市のほか、オブザーバーとして京都府立医大が出席。

基幹的病院の創設を軸とした現行の「中丹地域医療再生計画(昨年1月に府が策定)」に対し、今年2月に就任した多々見市長の方針に基づき、東・西地区の均衡ある医療バランスを図りながら、市内の公的病院の命と健康を守り、安全・安

医療機能の選択と集中、分担と連携による医療再生を担い、市全体としてあたる体制を構築する市の見直し案を説明。

府や関係機関からは、「各病院の病床数、診療科目、地域医療再生基金の配分など具体的な数値を示してほしい」などの意見があり、今後、具体的な案を作成し、次回の会議で示す予定です。

市では、本市の喫緊の課題である地域医療の再生に向けて、現在、関係機関と鋭意調整に努めています。このたび、府主導のもと開催された「中丹地域医療再生計画に係る関係者会議」において、同計画の修正に係る市の基本的な考え方(見直し案)を示しました。同会議の概要と見直し案の内容をお知らせします。

心のみちを確保するため、新たな医療体制の早期の構築に向けて、府や関係機関と協議を進めていきます。

市の見直し案の主な内容は次のとおり(左上図参照)。

①各公的病院の有する特徴的な機能を充実・連携強化。

②舞鶴医療センターは脳卒中センター機能などを充実

### 市民病院

## 療養病床への特化に向け 赤十字病院隣接地への移転を検討

舞鶴市民病院については、今年4～6月に実施した療養病床に関するニーズ調査や同病院の耐震診断と施設設備の改修調査の結果を踏まえ、舞鶴赤十字病院の隣接地に療養病床に特化した120床規模で移転・新設する案で検討していきます。

これは、既存の施設に耐震補強や廊下幅などの改修を行うよりも新設した方が

舞鶴赤十字病院は循環器センター機能などを充実。舞鶴赤十字病院はリハビリセンター機能などを充実。市民病院は療養病床に特化し、急性期医療の後方支援。

経費がかからないこと、舞鶴赤十字病院との連携を図ることで西地区の医療機能の強化につながることで、効率的な運営により適切な維持管理が見込まれることなどから検討するものです。

調査結果の詳細などについては、広報まいづる7月16日号でお知らせします。

詳しくは、舞鶴市民病院(☎62・2630)へ。

舞鶴共済病院は循環器センター機能などを充実。舞鶴赤十字病院はリハビリセンター機能などを充実。市民病院は療養病床に特化し、急性期医療の後方支援。②救急医療体制の整備などのため、病院間・病診間の連携強化を図ることや幅広く研修医を確保することなどを支援するため、市が主体となり、舞鶴地域医療連携機構(仮称)を設置。

詳しくは、医療政策推進課(☎66・1036)へ。

## 7月15日まで アジサイ園を開園中



ひと目5万本のアジサイの海

7月15日(金)まで自然文化園でアジサイ園を開園中。開園時間は9時～17時。アジサイ園の入園料は300円(小・中学生150円)。

《イベント》7月10日(日)は次の催しを開催。◆土産物テント市:10時から。売り切れ次第終了。◆社茶道裏

千家淡交会両丹支部舞鶴青年部によるお茶席:10時から。先着200人。200円◆挿し木教室:10時から。先着20人。申し込みは電話で◆ネイチャーゲーム:13時30分～15時30分。対象は小学生以上。先着20人。申し込みは電話で。

詳しくは、花と緑の公社(☎68・1187)へ。

## 国民文化祭の参加者募集

### 「光のオブジェ」「ジャズバー・ジャズカフェ」

10月29日(土)と30日(日)に開催する国民文化祭・京都2011の舞鶴市主催事業「赤れんがアートフェスティバル」で披露する「光のオブジェ」の制作スタッフを募集中。また、同フェスティバルで実施する「ジャズバー」と「ジャズカフェ」での演奏者も募集します。

10月29日、18時～21時30分

◆応募規定・定員 音楽活動に携わっており、しっかりとした大人の雰囲気のある曲が演奏できる。定員は5組程度(選考により決定)

《ジャズカフェ》

◆日時 10月30日、11時～16時

◆応募規定・定員 音楽活動に携わっており、子どもから大人まで気軽に楽しめる曲が演奏できる。定員は8組程度(選考により決定)

《共通》

◆場所 市政記念館

◆出演時間 1組40分程度

◆その他 機材の運搬費として1組1～3万円を助成

◆申し込み方法 所定の用紙(企画政策課に備え付け)市ホームページからダウンロード可)に出演者(団体の写真とテモ音源(形態は自由)を添付し、実行委員会事務局へ郵送か持参。8月1日(月)必着。

詳しくは、実行委員会事務局(企画政策課内、☎66・1042、FAX 62・5099)へ。